令和７年度シカ特別対策事業に係る捕獲計画

北広島市鳥獣被害防止対策協議会

１．目的

本市においては、緊急捕獲活動支援事業により、シカの捕獲を実施しているところであるが、シカによる被害は、減少していない状況にある。このため、本事業により、国有林内で繁殖、越冬しているものと思慮されるエゾシカを減少させることを目的とする。

２．目標

（１）推進方針

北広島市中の沢を捕獲区域として設定し、シカの集中捕獲を実施する。

（２）目標捕獲頭数

15 頭

３．事業実施体制に係る項目

（１）構成市町村、構成機関と役割分担

範囲	構成機関	役割分担
北広島市鳥獣被害防止対策協議会	北広島市	協議会事務局の運営 協議会構成団体との連絡調整 鳥獣保護法に基づく捕獲許可申請事務 鳥獣被害防止対策の実施等
	北広島広猟会	鳥獣の捕獲の実施（銃器・くくりわな・囲い罠） 鳥獣被害防止対策の実施及び協力等
	石狩農業改良普及センター	鳥獣被害防止に係る指導、助言等
	道央農業協同組合 恵庭・北広島営農センター	各組合員からの鳥獣被害情報収集・提供等
	農業者	鳥獣被害防止対策への協力及び鳥獣に関する情報提供（狩猟免許有資格者）

（２）協議・意見聴取の機会

計画実施段階、評価段階において部会構成員で協議を行う。その際、必要に応じて北海道猟友会札幌支部東部会理事柿原将吾を招き、助言を得る。

事業成果については、北海道猟友会札幌支部東部会理事柿原将吾から、事業の評価に当たって、成果について捕獲効率の観点からの評価手法及び評価結果について意見聴取する。

４．事業の対象地域内の全ての市町村における被害防止計画の作成状況

北広島市市鳥獣被害防止計画（第４期、Ｒ５年度～Ｒ７年度）

５．生息状況調査等に係る項目

（１）生息状況、生息数の調査

毎年１０月にライトセンサスを実施している。

また、近年は各地区において目撃件数も増加している。

（２）農業被害額及び捕獲頭数

鳥獣区分	被害品目（例）	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
		被害面積(ha)	被害額(千円)	被害面積(ha)	被害額(千円)	被害面積(ha)	被害額(千円)	被害面積(ha)	被害額(千円)	被害面積(ha)	被害額(千円)
エゾシカ	馬鈴薯、ブロッコリーなど	5.26	9,842	5.17	10,947	4.03	6,840	3.81	8,954	19.00	18,137

鳥獣区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	捕獲頭数	捕獲頭数	捕獲頭数	捕獲頭数	捕獲頭数
エゾシカ	187	209	185	211	245

６．シカの集中捕獲の内容

（１）捕獲体制（捕獲者）

捕獲者は、北広島市鳥獣被害防止対策実施隊とする。

（２）目標捕獲頭数等に係る内容

北広島市中の沢地区：15 頭

（３）捕獲方法

囲い罠による。囲い罠で捕獲した電気止め刺し器で止め刺しする。捕獲個体は北広島市鳥獣被害防止対策実施隊が袋詰めし、北広島市に所在する北広島市クリーンセンターに搬入し、埋却処分を行う。

（４）捕獲期間

北広島市中の沢地区：計画承認日から令和８年３月 31 日

（５）捕獲に要する経費

捕獲に係る報酬については１頭当たり 7,000 円(全額国費)とする。また、捕獲にかかる必要機材の購入や囲い罠運用管理業務委託を北広島広猟会に発注する。

（内訳）

・捕獲に係る報酬

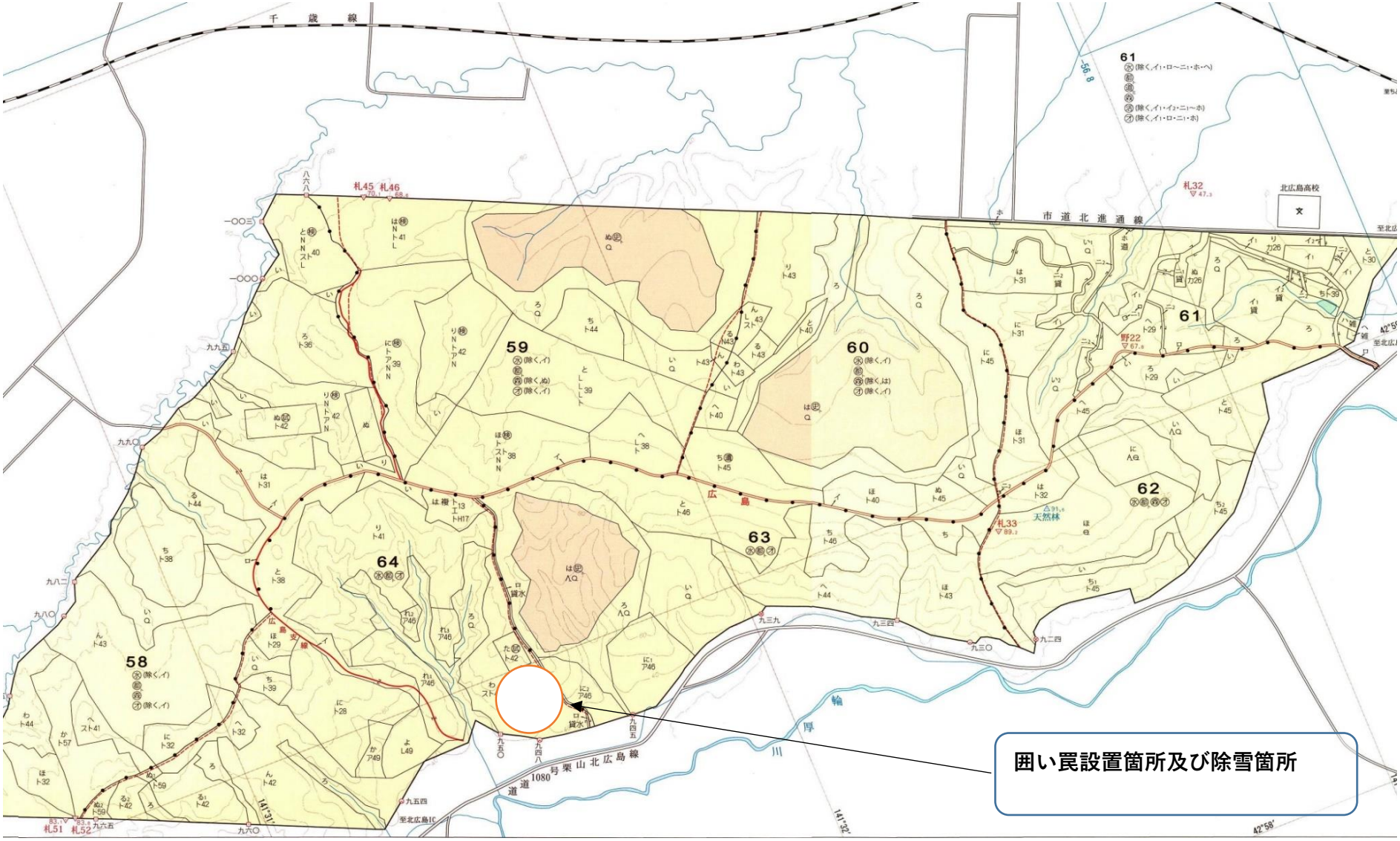
・捕獲に必要な機材

・わなに係る給餌

・捕獲活動経費

（６）捕獲目標に対する事業成果（捕獲効率含む）の評価方法の設定

事業成果については、設定した目標の達成率が 70%未満の場合は、達成状況が低調であるものとする。


千歳線
市道北進通線
北広島高校
広島
広島支線
輪厚川
道1080号栗山北広島線
至北広島IC
天然林
58
59
60
61
62
63
64
囲い罠設置箇所及び除雪箇所

囲い罠設置箇所及び除雪箇所